

平成22年度決算の概要

平成22年度の水道事業会計の決算についてお知らせします。

有収水量は、412 3万1千³m³で昨年度より2 9万 8千³m³増加。

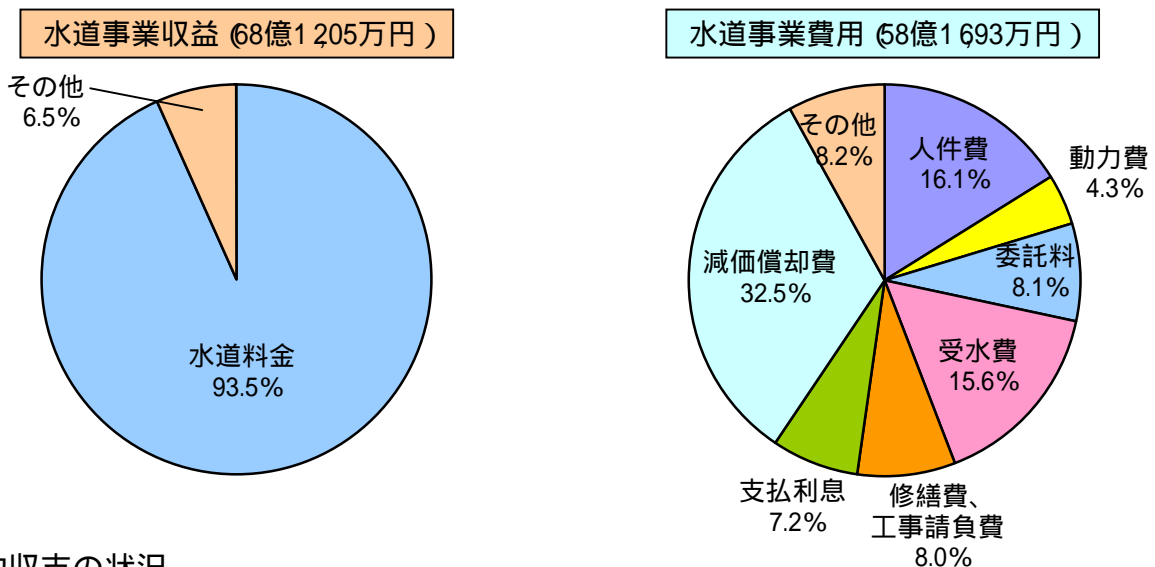
平成22年度の年間総配水量は42 562 855³m³で、そのうち水道料金の徴収対象になった水量 (有収水量といいますが)は、41 230 530³m³になり、配水量に対して96 8 7%(有収率といいますが)となっています。

平成22年度決算は 9億 951 3万円の純利益

決算の状況は、総事業収益は68億1 205万円 (消費税及び地方消費税抜、以下 税抜)で、これに対する総事業費用は58億1 693万円 (税抜)となり、この結果、9億9 513万円の純利益となりました。

収益的収支の状況

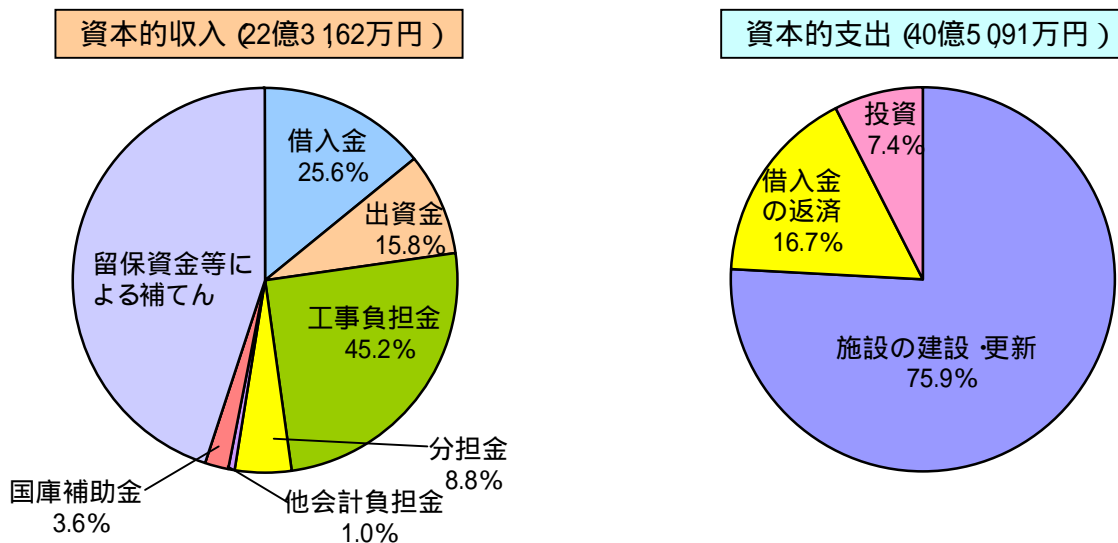
水道事業会計のうち、施設の運転・管理等、水道事業を運営するための経費とその財源の状況です。



資本的収支の状況

水道事業会計のうち、水道施設を建設・整備するための経費とその財源の状況です。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、施設の更新の資金とするために企業活動により蓄えられた現金・預金等 (留保資金といいますが)により補てんしています。



平成22年度は、浄水施設の更新事業として竜泉寺ポンプ場電気設備等更新工事、老朽管対策事業として鑄鉄管布設替工事を行いました。災害対策事業では水道管路耐震化工事の市民病院、愛知病院ルートの完成に加え、3箇年の継続事業として実施してきた大西配水場配水池の耐震化及び増設工事が完了しました。

また、東部地区給水事業では池金配水場・大幡ポンプ場築造工事を実施し、その他、六供浄水場配水場化に向けた導水管布設工事を実施しました。